月 例 統 計 報 告 (令和4年9月)

令和4年10月6日 企 画 振 興 部

1 秋田県の入口(秋田県の入口と世帯(月報) (令和4年9月1日現在))	1
本県の総人口は、931,220人(男 439,706人 女 491,514人)	
前月に比べ、1,007人 (0.11%) 減少	
自然増減 1,059人 の減少(出生者 354人 死亡者 1,413人)	
社会増減 52人 の増加(県内への転入者 980人 県外への転出者 928人)	
この1年間では、14,624人(1.55%)の減少	
2 秋田県経済の動き	
(1) 製造業の生産動向(鉱工業生産指数月報(令和4年7月分))	
秋田県鉱工業生産指数(平成27年=100)	
季節調整済指数 112.3 : 前月比 14.6%減少(3か月ぶりの	7減少)
原指数 109.0 : 前年同月比 3.8%上昇	
全国の鉱工業生産指数(平成27年=100)	
季節調整済指数 96.9 : 前月比 0.8%上昇	
(2) 雇用·労働情勢 (毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和4年7月分	/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
(2) 雇用・刀側情労 (再月勤力が同間直地力調査和未述報 (17年17月) 賃金、労働時間及び雇用の動き 〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数	
現金給与総額 293,633円 : 前月比 19.6%減、前年同月比 2.4%減	
総実労働時間 148.3時間 : 前月比 2.4%減、前年同月比 1.5%減	ov.
常用雇用指数 99.7 (令和2年=100)	¥
: 前月比 0.1%減、前年同月比 0.5%堆	ii ii
(3) 物価動向 (消費者物価指数(令和4年8月分))	4
秋田市消費者物価指数 104.5 (2020年=100)	
前月比 0.1%上昇、前年同月比 4.3%上昇	
全国の消費者物価指数 102.7 (2020年=100)	
前月比(季節調整値) 0.3%上昇、前年同月比 3.0%上昇	
的力丸(子如柳金恒) 0.0/0工弁、前午的力丸 0.0/0工弁	
(4) 景気動向(秋田県景気動向指数(令和4年7月分))	5
先行指数 125.0 前月を0.4ポイント上回り、2か月連続で上昇	
一致指数 85.1 前月を2.3ポイント上回り、2か月連続で上昇	
遅行指数 102.8 前月を1.6ポイント下回り、5か月ぶりに下降	
3 景況ダイジェスト(県内・東北・全国)	2 5
∪ 泉ルノコノエヘド (木内:木心:土岡/	-

- 1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和4年9月1日現在)」)
 - (1) 令和4年9月1日現在 の本県の総人口は 931,220人(男 439,706人 女 491,514人) となり、前月に比べ 1,007人(0.11%)の減少となった。

自然増減 1,059人 の減少(出生者 354人 死亡者 1,413人)

社会増減 52人 の増加(県内への転入者 980人 県外への転出者 928人)

(2) この1年間では、14,624人(1.55%)の減少となった。

自然増減 12,198人 の減少(出生者 4,111人 死亡者 16,309人)

社会増減 2,426人 の減少(県内への転入者 12,123人 県外への転出者 14,549人)

(3) 世帯数は 386,423世帯 となり、前月に比べ 2世帯 の増加となった。



※令和2年10月の総人口は国勢調査確定値である。

〇自然増減と社会増減の推移

し日常相談とは五相談の正 り											
	自然増		減	人口増減							
年 月	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	=自然増減				
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	+社会増減				
R3(2021)年 8月	373	1. 299	▲ 926	717	711	6	▲ 920				
R3(2021)年 9月	350	1, 286	▲ 936	786	820	▲ 34	▲ 970				
〃 10月	346	1, 356	▲ 1, 010	732	780	▲ 48	▲ 1, 058				
〃 11月	398	1, 383	▲ 985	684	705	▲ 21	▲ 1,006				
〃 12月	347	1, 343	▲ 996	548	614	▲ 66	▲ 1, 062				
R 4 (2022)年 1月	359	1, 586	▲ 1, 227	558	670	▲ 112	▲ 1, 339				
〃 2月	303	1, 294	▲ 991	579	804	▲ 225	▲ 1, 216				
" 3月	326	1, 463	▲ 1, 137	2, 353	5, 113	2 , 760	▲ 3, 897				
〃 4月	305	1, 321	▲ 1, 016	2, 096	1, 548	548	▲ 468				
" 5月	360	1, 397	▲ 1, 037	1, 074	833	241	▲ 796				
" 6月	345	1, 305	▲ 960	817	833	▲ 16	▲ 976				
<i>"</i> 7月	318	1, 162	▲ 844	916	901	15	▲ 829				
〃 8月	354	1, 413	▲ 1, 059	980	928	52	▲ 1, 007				
直近1年間の累計 (R3.9~R4.8)	4, 111	16, 309	▲ 12, 198	12, 123	14, 549	▲ 2, 426	▲ 14, 624				

(参考)

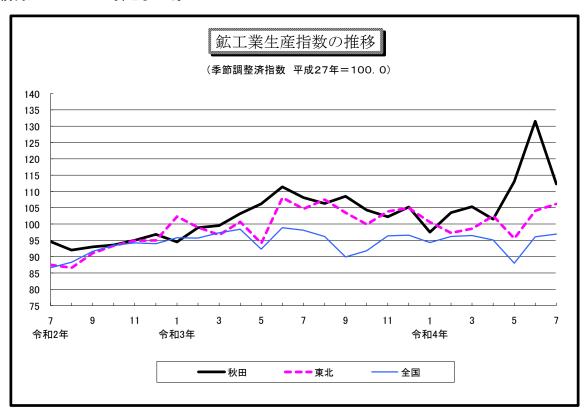
R2.9~R3.8の累計 4	, 418 15	5, 905 ▲	11, 487	11, 433	14, 441	▲ 3,008	▲ 14, 495
----------------	----------	-----------------	---------	---------	---------	----------------	------------------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和4年7月分)」)

令和4年7月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が112.3(前月比14.6%減)となり、3か月 ぶりに減少した。また、原指数は109.0となり、前年同月と比べ3.8%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は96.9となり、前月比で0.8%の上昇となった。また、東北は106.2となり、前月比で1.2%の上昇となった。



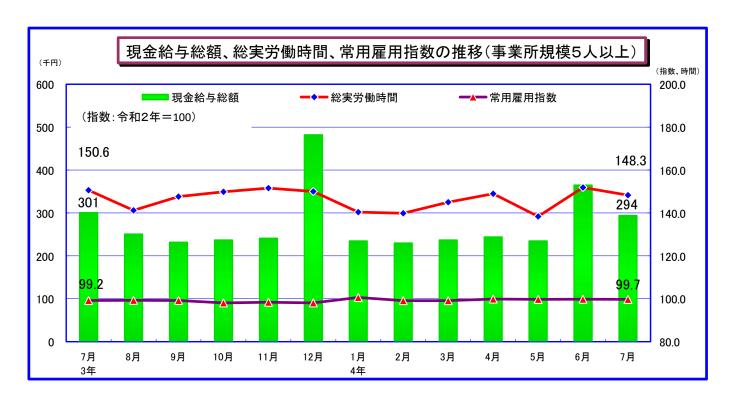
〇主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
金属製品工業	243.3	232.4	鉄骨
化学工業	104.7	0.1	複合肥料(化成肥料)
□低下した主な業種			
食料品工業	217.6	4 8.9	冷凍調理食品
電子部品・デバイス工業	85.6	▲ 4.5	セラミックコンデンサ
生産用機械工業	180.3	▲ 10.7	その他の特殊産業用機械

※影響度の大きい順に並べたものである。

(2) 雇用·労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和4年7月分)」) (※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和4年7月の現金給与総額は293,633円となり、前月比で19.6%の減、前年同月と比べ2.4%の減となった。 総実労働時間数は148.3時間となり、前月比で2.4%の減、前年同月と比べ1.5%の減となった。 常用雇用指数は99.7となり、前月比で0.1%の減、前年同月と比べ0.5%の増となった。



〇産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

70-17 7 10 12		
増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	247,971	32.6
学術研究, 専門・技術サービス業	388,047	15.7
宿泊業、飲食サービス業	139,907	12.8
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
卸売業, 小売業	221,862	▲ 25.3
教育, 学習支援業	296,171	▲ 15.2
建設業	342,115	▲ 7.9

3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
製造業	107.3	17.5
情報通信業	102.1	4.2
サービス業(他に分類されないもの)	105.6	3.6
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
複合サービス事業	58.5	▲ 39.0
金融業, 保険業	89.3	▲ 6.6
建設業	94.2	▲ 6.4

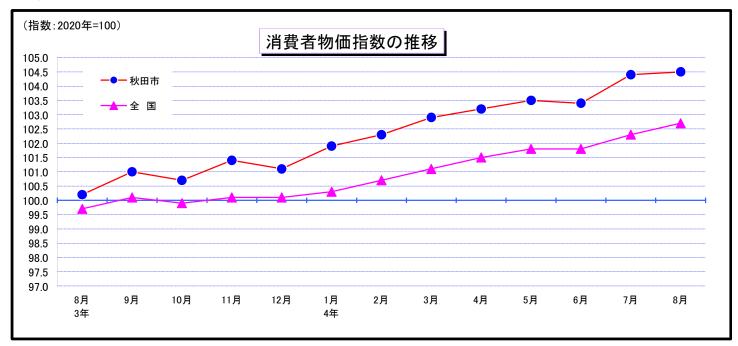
2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	119.3	8.6
学術研究、専門・技術サービス業	157.8	7.9
サービス業(他に分類されないもの)	151.4	4.7
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
教育, 学習支援業	119.4	▲ 18.3
卸売業, 小売業	137.8	▲ 5.1
情報通信業	157.4	▲ 4.7

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和4年8月分)」)

令和4年8月の秋田市消費者物価指数は104.5(2020年=100)となり、前月比で0.1%の上昇、前年同月比で4.3%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は102.7となり、前月比(季節調整値)で0.3%の上昇、前年同月比で3.0%の上昇となった。



10大費目指	10大費目指数の動き(2020年=100):秋田市															
	総合				食料			住 居	光 熱· 水 道	家 具・ 家事用品	被服及び 履物	保健医療	交 通 · 通 信	教育	教養娯楽	諸雑費
		生鮮食品 7除 〈総 1	き びエネルギー き を	食料(酒類を 除く)及びエ ネルギーを 除く 総 合		生鮮食品	生鮮食品 を除く 食料									
当月指数	104.	5 104.4	102.3	100.9	106.2	106.7	106.1	104.1	118.9	108.9	103.0	99.3	94.8	99.6	106.4	102.9
前月比(%)	0.	1 0.:	2 0.4	0.2	0.3	▲ 3.0	1.1	0.0	▲ 0.3	0.2	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.5	0.0	1.3	▲ 0.2
前年同月比(%)	4.	3 4.	1 2.8	1.9	6.0	9.6	5.2	3.0	14.0	4.1	3.9	0.2	0.7	▲ 0.2	3.3	1.8

総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

〔上昇〕

<u> </u>				
10大費目	中分類	前年同月比	寄与度	
食 料	魚介類	16. 5	0.42	
光 熱 · 水 道	電気代	16.8	0.68	
住居	設備修繕・維持	12. 9	0.46	

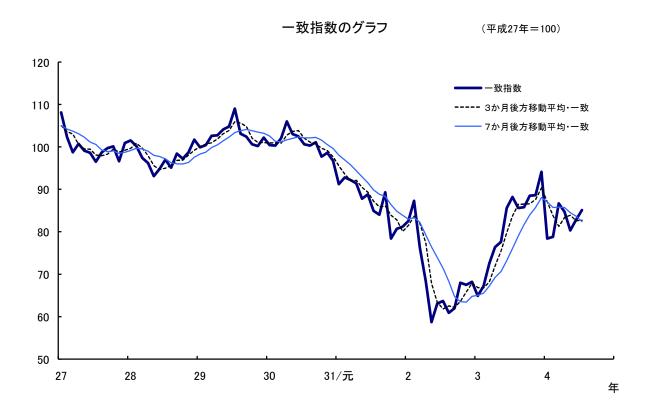
[下落]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度	

[※]寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向(「秋田県景気動向指数(令和4年7月分)」)

先行指数 125.0 前月を0.4ポイント上回り、2か月連続で上昇した。 一致指数 85.1 前月を2.3ポイント上回り、2か月連続で上昇した。 遅行指数 102.8 前月を1.6ポイント下回り、5か月ぶりに下降した。



〇一致指数採用系列の前月比較

系 列 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.50	1.49	▲ 0.01	▲ 0.28
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	▲ 13.4	▲ 14.7	▲ 1.30	0.22
鉱工業生産指数(H27年=100)	131.5	112.3	▲ 14.60%	▲ 0.89
生産財生産指数(H27年=100)	95.0	93.7	▲ 1.37%	▲ 0.28
百貨店・スーパー販売額(%)	▲ 4.4	0.2	4.60	1.01
新車販売台数(台)	2,463	2,588	5.08%	0.85
投資財生産指数(H27年=100)	127.2	137.7	8.25%	1.07
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	6,402	8,529	33.22%	0.24
秋田空港利用者数(人)	72,016	73,570	2.16%	0.37
CI 一致指数(全体值)	82.8	85.1	2.3	

		景況ダ	イジェス	卜(令和4	年9月)						
対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日				内 容						
	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和4年9月15日公表	需要面をみ となっている生産は、緩	ると、個人消 。住宅投資は やかに増加し	は、弱含んでい	している。公共	≒投資は、高水 は、製造業を中		ばい圏内の動き いる。			
	県内経済動向調査結果 企業活性化·雇用対策本部 (産業政策課) 令和4年7月分 令和4年9月12日公表	ものの、サーいる。 製 選 業 : 建 売 業 : サービ ス (全業種) D	ビス業は宿泊 でス 業は宿泊 できない 子でい かいい でい でい でい でい でい でい でい でい でい かい かい がい かい	a業で弱めの動 ボバイス・電子 か月連続で前 ⁴ は堅調に推移し ロイルス感染症 : 比較すると、3	きが続いている 回路等で好調な 手同月を上回っている。 の影響から、対	る。製造業は全いない。	体として堅調 、全体として 弱めの動きが ら7.0、現在 <i>0</i>				
内	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和4年7月分 令和4年9月号	木材の生産 属は前年を上	は前年を下回回った。建設]って推移して とは、住宅着エ	いるものの、言 が前年を下回っ		を維持してい 、公共工事は	るほか、機械金 前年を上回って きが続いてい			
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和4年8&9月号	最近の県内 な水準を維持 業主要業態販	経済は、住宅 しています。 売は前年を上 加傾向にあり	投資が基調とまた、個人消に回って推移し で展用情勢も	しては増加傾向 費は自動車販売 ています。こ <i>0</i>	たが依然低調に D間、生産活動	投資は減少基 とどまってい は主力の電子	調ながらも堅調 るものの、小売 部品を中心に総 さには欠けるも			
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和4年8月分 令和4年9月30日公表	「概況〕令和4年8月の有効求人倍率(季節調整値)は1.50倍。前月比0.01ポイント上回る。 (全国平均は1.32倍、前月比0.03ポイント上回る。) 有効求人数(季節調整値)は前月に比べて2.5%減少、有効求職者数(同)は3.2%減少した。 ① 新規求人数は7,656人、前年同月比7.9%(653人)減少。同比7か月連続で減少した。 ② 有効求人数は23,701人、前年同月比1.8%(446人)減少。同比3か月連続で減少した。 ③ 新規求職者数は3,152人、前年同月比1.7%(54人)減少。同比4か月ぶりで減少した。 ④ 有効求職者数は14.813人、前年同月比1.4%(204人)減少。同比14か月連続で減少した。									
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商エリサーチ秋田支店 令和4年8月度 令和4年9月2日公表		前年同月比 前年同月	倒産件数 ての倒産件数0	0件 - 0件 0件	負債総額	Į	0円 - 0円			
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和4年8月1分 令和4年9月16日公表	8月3 比較:		業界全体 ▲ 18.3 ▲ 33.3 ▲ 15.0	▲ 33.4	▲ 2.8	売上高 8.4 5.0 ▲ 3.4	収益状況 ▲ 20.0 ▲ 38.3 ▲ 18.3			
	秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和4年8月分 令和4年9月15日公表	対前年度増減 区分 発注者 国 独立行政法人等 県 市町村 地方公社 その他※ 合 計		### ### ### ### #####################	金額32. 4%増加 令和4 件数 27 5 180 115 0 330	年8月 請負金額 4,219 723 5,964 3,481 0 1,525		単位:百万円) 度増減率(%) 請負金額 50.5 108.0 11.6 ▲ 1.1 - 22.446.3 32.4			
		※「その他」発 指定公共工		立行政法人等、	地方公共団体、地	!方公社を除く国 <u>−</u>	上交通大臣が指	定する			

現内接済情勢報告 財務者事所 令和4年7月27日公表 (程)										
株田保神神神 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本			項 目 内容							
● 令和4年7月分										
中の		10.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.								
議職会										
全事校理 4年度比培養現込み 2年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年		令和4年7月27日公表)				
大田県内全国企業が開発を検別時代報報 日本日 日本日	県		AF 1 F111 .							
内	/ (
A										
株田県内全部企業地理経典料別地球経報			住宅	建設 前年を上回っ	ている					
日本銀行秋田支店	闪		公共	事業 前年度を上回]っている					
中和4年9月1日公表		秋田県内全国企業短期経済観測調査結果	[]	業況判断 D I]	4年					
中央		日本銀行秋田支店	単作		3月	6月	変化幅	9月(予測)	変化幅	
東北総済産業局		令和4年6月調査		全産業	▲ 5	2	7	▲ 5	▲ 7	
世・北総済産業局 令和4年7月分 令和4年9月15日公表 超工業生産:持ち直しの動きがみられる 但人海費:緩やかに持ち直している 経工業生産:持ち直しの動きがみられる 公共投資:減少している 展用: 持ち直しの動きがみられる 公共投資:減少している 展用: 持ち直しの動きがみられる 企業関産:落ち高い動きとなっている 関目 個人消費 機やかに持ち直している 全種健生・落ち高いに動きとなっている 理用情勢 持ち直しつかる 独性・月月27日公表 性に診動 持ち直している 全理度は増殖見込み 企業の基理 所作を上回っている 内閣府 令和4年7月27日公表 自解接受 相乗は増殖見込み 企業の基理 所作を上回っている 公共事業 所作度を上回っている 公共事業 所作度を上回っている 公共事業 所作度を上回っている 公共事業 所作度を上回っている 会社4年9月30日公表 提供技法・応駆し動きとなっている 強 出・おおおね様ばいとなっている 会社投資・認めたけ持ち直している 管 大持ち直しの動きがみられる 住宅建設 所作を上回の動きがみられる 住宅建設 原産をが増している 競 人・持ち直しの動きがみられる 住宅建設・底駆し動きとなっている 会大投資・原産をが増している 衛 上・おおむね様ばいとなっている 実 、・持ち直しの動きがみられる 企業収益・一部に弱きがみられる 企業収益・一部に弱きがみられる 企業収益・一部に弱きがみられる の未決する。となっている 実 ・ 持ち直しの動きがみられる 発現4年9月10日公表 ・ 大行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが関待される。ただし、世界的な金融引補め等が続く中、海外景気の下振れが表が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本が未の変動等の影響に十つ注意する必要がある。 「業現期経済観測調査結果 日本能行調を統計局 令和4年7月1回公表 ・ 「実現事業・実達業・実建業・実建業・実建業・実建業・実建業・主要達案 ・企業・ 本位 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		令和4年7月1日公表		製 造 業	13	13	0	8	▲ 5	
東北総済産業局 令和4年9月15日公表				非製造業	▲ 15	4	11	▲ 12	▲ 8	
東北紀年7月分 令和4年9月15日公表		管内の経済動向	ムはの	動力 忽りかにせき	古していて			•		
東東 北 北 中部の経済情勢報告 財務省東北財務局 管内経済情勢報告 財務省東北財務局 を規模 第一端のに持ち直しの助きがみられる 企業倒産 落ち着いた動きとなっている を無側産 落ち着いた動きとなっている 中部の経済報告 財務省東北財務局 会和4年7月27日公表 を接側度 落ち着いた動きとなっている 中部の経済報告 財務省東北財務局 全産販売 下降している 全産販売 下海している 全産販売 下海している 理解性勢 沖 ち直している 理解性勢 沖 ち直している 理解性勢 沖 ち直している 理解性勢 中 1 年度は増加見込み 企業収益 4年度は増加見込み 企業収益 4年度は増加力とみ 会産が設め、		東北経済産業局	11年の	期内:彼やかに持ら	直している					
東		令和4年7月分	鉱工業	生産:持ち直しの動	きがみられる)				
東		令和4年9月15日公表	個人消	費:緩やかに持ち直	[している					
東			住宅着	エ:持ち直しの動き	がみられる					
関係投資:増加している										
 東										
###	_				がみられる					
近日 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	果									
財務省東北財務局		一			- C & J C V - &		力突			
## 全					直している		7.10			
会和4年7月27日公表 生産活動 持ち直している 雇用情勢 持ち直している 雇用情勢 持ち直しつつある 設備投資 4年度は増展込み 企業収益 4年度は増展込み 企業収益 4年度は増展し込み 企業収益 6月 日本銀行調査結計局 令和4年9月30日公表 日の経済報告 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の	北									
歴用情勢 持ち直しつつある 設備投資 4年度は増加見込み 企業の投産 4年度は増加見込み 企業の景図 「下降」超幅が縮小 住宅建設 前年度と回っている										
設備投資 4年度は増加見込み		月相中十万亿百五数								
企業収益 4年度比増益見込み										
企業の景沢感										
住宅建設 前年を上回っている										
公共事業 前年度を下回っている 日外経済報告 内閣府 令和4年9月										
月例経済報告 内閣府 令和4年9月 令和4年9月30日公表 個人消費:緩やかに持ち直している 設備投資:持ち直しの動きがみられる 住宅建設:底堅い動きとなっている 公共投資:底堅さが増している 輸 出:おおむ和横ばいとなっている (
京凤は、綾やかに持ち直している 一名和4年9月		日间级这起生	<u> </u>	尹未 刑 牛及を下巴	12 (1.9					
令和4年9月 令和4年9月30日公表			景気	は、緩やかに持ち直	している。					
会和4年9月30日公表 設備投資:持ち直しの動きがみられる 住宅建設:底堅い動きとなっている 公共投資:底堅とが増している 輸 出:おおむね横ばいとなっている 輸 出:おおむね横ばいとなっている 電			個人当	費・経わかに共ち直	l ている					
住宅建設:底堅い動きとなっている 公共投資:底堅さが増している 輸 出:おおむね横ばいとなっている 輸 入:持ち直しの動きがみられる 貿易・サービス収支:赤字となっている 生 産:持ち直しの動きがみられる 企業収益:一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している 業況判断:持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している ・ 大行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 ・ 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表 ・ 4年/6月 製造業 非製造業 全産業 ・ 4年/6月 り 13 ▲ 4 ▲ 6 0 0 0 4年/6月 り 13 ▲ 4 ▲ 6 0 0										
公共投資:底堅さが増している 輸 出:おおむね横ばいとなっている 輸 入:持ち直しの動きがみられる 貿易・サービス収支:赤字となっている 生 産:持ち直しの動きがみられる 企業収益:一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している 薬況判断:持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 消費者物価:上昇している ・		令和4年9月30日公表								
輸 出:おおむね横ばいとなっている 輸 入:持ち直しの動きがみられる 貿易・サービス収支:赤字となっている 生 産:持ち直しの動きがみられる 企業収益:一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している 業況判断:持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 、			住宅建	設:底堅い動きとな	っている					
輸 入:持ち直しの動きがみられる 貿易・サービス収支:赤字となっている 生 産:持ち直しの動きがみられる 企業収益:一部に弱きがみられるものの、総じてみれば改善している 業況判断:持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 大行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表			公共投							
輸 入:持ち直しの動きがみられる 貿易・サービス収支:赤字となっている 生 産:持ち直しの動きがみられる 企業収益:一部に弱きがみられるものの、総じてみれば改善している 業況判断:持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 大行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表			輸	出・おおむね構ばい	となっている					
全 全 度 : 持ち直しの動きがみられる 企業収益 : 一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している 業況判断 : 持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数 : おおむね横ばいとなっている 雇用情勢 : 持ち直している 国内企業物価 : 上昇している 消費者物価 : 上昇している 消費者物価 : 上昇している (生産の)										
生 産:持ち直しの動きがみられる 企業収益:一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している 業況判断:持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している ・										
全 企業収益: 一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している										
全 企業収益: 一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している			生 産:持ち直しの動きがみられる							
全 業況判断: 持ち直しの動きに足踏みがみられる 倒産件数: おおむね横ばいとなっている 雇用情勢: 持ち直している 国内企業物価: 上昇している 先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表 単位: %ポイント 製造業 非製造業 全産業 4年 / 3月 14 9 ▲ 4 ▲ 6 0 0 4年 / 6月 9 13 ▲ 4 ▲ 1 2										
国産件数:おおむね横ばいとなっている 雇用情勢:持ち直している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している ・	수									
国内企業物価:上昇している 国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表	+									
国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局令和4年6月調査分令和4年6月調査分令和4年7月1日公表			倒産件	図:おおむね横ばい	となっている					
国内企業物価:上昇している 消費者物価:上昇している 先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局令和4年6月調査分令和4年6月調査分令和4年7月1日公表	l		雇用情	勢:持ち直している						
消費者物価:上昇している	国				る					
## ## ## ## ## ## ## ## ## ##										
て、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果			一只怕	ス.血・エテしている						
て、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 企業短期経済観測調査結果				+ i= - i · - · · ·	_	L	(h/= <># · · ·		T-# 0 - 1 - 1 - 1	
の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 - 企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局										
融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。										
								物価上昇、供	粘囲じの制約、金	
日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表 単位:%ポイント 製造業 非製造業 非製造業 全産業 4年/3月 14 9 ▲ 4 ▲ 6 0 13 ▲ 4 ▲ 1 2			融負本	T場の変動寺の影響	に十万注息する	る必安かめる。				
日本銀行調査統計局 令和4年6月調査分 令和4年7月1日公表 単位:%ポイント 製造業 非製造業 非製造業 全産業 4年/3月 14 9 ▲ 4 ▲ 6 0 13 ▲ 4 ▲ 1 2			F.	# \C \u		- 	/ •	∧ ₩\	V +n +# v = i	
令和4年6月調査分 4年 / 3月 14 9 ▲ 4 ▲ 6 0 令和4年7月1日公表 4年 / 6月 9 13 ▲ 4 ▲ 1 2										
令和4年7月1日公表 4年 / 6月 9 13 ▲ 4 ▲ 1 2			単作							
変化幅 ▲ 5 4 0 5 2		令和4年7月1日公表								
				変化幅	▲ 5	4	0	5	2	